

## 羽田空港国内線旅客ターミナルにおける絶対安全についての取り組み

日本空港ビルデング株式会社

旅客ターミナル運営本部 施設管理グループ  
施設運営部長 **秋田 茂岐**  
(蒲田防火管理協会)



### 羽田空港国内線旅客ターミナルの防災についての考え方

羽田空港は世界31都市、国内48都市と結ばれており、2018年度は、国際線約1,800万人、国内線約6,700万人、全体で年間8,500万人以上の旅客数を誇り、これは世界第5位となっています。当社は羽田空港国内線旅客ターミナルビル（以下「旅客ターミナル」という）を建設・管理運営しており、全国各地からお越しになるお客さまにご利用いただいています。

また、旅客ターミナル内では、安全で安心な空の旅をお客さまに提供するため、当社及びグループ各社をはじめ航空会社や運航に携わる多くの会社・機関が連携し、日々働いています。

災害等有事の際は、空港従業員が一丸となりお客さまの安全・安心を確保するために、日々ハード面・ソフト面の改善に取り組んでいます。



総合防災訓練

### ハード面の防災対策

旅客ターミナルの建物は昭和56年に制定された新耐震基準で設計されており、震度6強から7の大規模な地震であっても倒壊しない堅牢な建物となっています。また、館内の防災垂れ壁をガラス式からフィルム式に変更するなど、飛散対策を行っています。

さらに電源・給水等ライフラインの冗長化や日本語と英語による緊急放送（緊急地震速報等）、ロビー内のフライトモニターへ緊急表示（日本語・英語）するシステムを整えています。



備蓄品配布訓練

加えて、大規模な震災が発生し、空港からの陸上交通手段が絶たれ、お客さまが旅客ターミナル内に長時間滞留せざるを得なくなった場合を想定し、3日間分の備蓄品を準備しています。非常食に関しては、無調理ですぐに食べることができ、なおかつアレルギーフリーのものを用意しています。

### 防災センターの役割

防災センターでは24時間365日、監視カメラや集中施錠装置等の防犯設備や自動火災報知設備等と巡回者や店舗職員などのハードとソフトの両面で広大な旅客ターミナルを効果的に管理することで救急事案や不審者・不審物などの緊急事案に対応し、旅客ターミナル内の安全を保っています。さらに、大規模事故・大震災発生時は防災センター内に緊急対策本部を設置し、情報の収集や指示など、指揮系統を一元化させる体制をとっています。

### ソフト面の防災対策

旅客ターミナルでは、共同防火防災管理協議会を組織しており、さまざまな訓練を行い、多くの方が参加しています。特に年2回行っている総合防災訓練では従業員による安全確保・避難誘導・初期消火の初動訓練に加え、空港従業員のみならず、お客さまにも参加いただいて震災時に身を守る訓練（シェイクアウト）を行ったほか、東日本大震災の教訓を受け物資（非常食）配布訓練や、救護所開設訓練等を行っています。

また、蒲田消防署管轄で実施する自衛消防隊訓練審査会に毎年出場し、2カ月間の訓練を積んだ当社グループ従業員によるチームは毎年好成績をおさめています。

このように、災害時に従業員一人ひとりが状況に応じて適切に行動できるよう、常日頃から訓練等を通して備えています。



自衛消防隊訓練審査会

### 救急・消防対応について

1日あたり約23万人の旅客が羽田空港を利用するということもあり、救急要請も多数発生します。急病人への対応は1分1秒を争うため従業員であれば誰でもAED操作を含む心肺蘇生法等の基本的な対応ができるよう救命講習を開催しています。これは当社グループ従業員と入居テナント従業員を対象としており、年間約500人が受講をしています。

AEDについては館内のどこでも必要になって速やかに使用開始できるよう、館内各所に設置しています。

また、旅客ターミナルは横方向に長く面積も広い建物となっているため、救急事案発生時は、防災センター職員が速やかに現場に急行し初期対応を行うとともに、防災センターは救急隊に現場の状況を伝え、他の防災センター職員は到着した救急隊を急病人の場所に速やかに誘導します。

このように、防災センターと救急隊が緊密に連携することで広い館内でも、救急隊到着までの時間を可能な限り短縮します。このことは、火災発生時に消防隊と連携する場合についても同様です。

急病人や火災発生時に迅速に対処できる体制を整えておくことが旅客ターミナルを利用するお客さまの安全確保には重要な部分であると考えています。



AED取扱訓練

### おわりに

ここまで、施設の整備や備蓄品の拡充、従業員への訓練の実施や救急隊との連携についてご説明しましたが、なにより大切なのは、災害が発生した際は全従業員が防災要員となり、勇気と自覚を持って行動することであるとと考えています。